

事業所における自己評価総括表

事業所名	STELLA KID 鶴ヶ峰教室			
保護者評価実施期間	2024年11月21日		～	2024年12月18日
保護者評価有効回答数	対象者数	40	回答者数	23
従業者評価実施期間	2024年11月21日		～	2024年11月30日
従業者評価有効回答数	対象者数	7	回答者数	7
事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日			

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんに対してマンツーマンで支援を行っている。さらに担当制であるため、お子さんが安心して環境に馴染みやすく、支援者もお子さんの個性をしっかり把握し、個々に適した支援を行うことができる。	児発管やほかの支援者と情報共有を行い、いろいろな視点でお子さんを見られるようにしている。丁寧なアセスメントやモニタリングにより、お子さんと保護者のニーズを把握し、わかりやすい支援計画を作成する。	計画的な研修の実施により、職員のスキルアップを図る。
2	「保護者会」や「ペアレントトレーニング」の実施。日々のフィードバックでの情報共有など、家族支援に力を入れている。幼稚園・保育園情報、子育て情報、就学情報など、保護者の関心ごとに寄り添う支援を心がけている。	時間には限りがあるが、丁寧なフィードバックを心がけ、保護者の悩み事、心配事にはできる限り迅速に対応するようにしている。また、個人面談の申込書を保護者待合室に設置し、ご要望に合わせて随時実施するようにしている。	今年度後半にスタートした「ペアレントトレーニング」を定着させていく。そのための職員教育を実施する。定期的なモニタリングや日々のフィードバックで保護者との意思疎通をしっかりと行っていく。
3	お子さんに寄り添ったオーダーメイドの課題づくりにより、通所を楽しみにしてもらっている。	お子さんの特性に寄り添い、無理なくスモールステップで成功体験を重ねられる課題づくりや、一人一人の好きなもの、関心あるものを課題に取り入れ、興味を持って主体的に参加できる工夫を行っている。	それぞれの個性、スキルに合った教材研究と、よりよい教材づくりのための職員勉強会を定期的に関く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信力が弱い（ホームページ、SNS等）	ブログ等の更新頻度の減少。待合室の掲示スペースが十分に活用されていない。	広報業務の担当を作り、時間を確保する。待合室に掲示板を設置することで、大切なお知らせや事業所の活動内容を保護者にわかりやすくお伝えする。事業所ブログやSNSへアクセスしやすいよう、リンクやQRコードを掲示する。
2	一部の職員に仕事が偏りがち。	職員それぞれの自主性に頼っていたため、明確な役割分担をしていないものがある。スキルの偏り。	人材育成でそれぞれのスキルアップを図り、役割分担を行うことで仕事の偏りを減らす。
3	訓練室・待合室・面談室・職員室がそれぞれ一つずつであるため、環境整備をし辛い面がある。	パーティション等、今あるものの活用には限りがある。	他施設の見学などを実施し、スペースの有効活用について新しい視点で検討する。